

被災地における内職プロジェクト

— 現地の雇用創出と地域のコミュニティの構築を目指す —

特定非営利活動法人 サンガ岩手
理事長 吉田 律子

< 事業概要 >

大槌での手芸作品を全国に向けて発信し、販売する。手芸工房の運営、手芸の制作、販売には被災地域の人を雇用し、仕事として手芸製作活動を行う事で被災地の復興、生活再建に繋げていく。そして手芸活動を行う中で手芸工房の場所を利用した住民交流会を開催し、地域住民同士の情報交換、交流の場を設け、人の集まる居場所づくりを通じた被災地での新たなコミュニティ形成を目指す。

1. 事業の内容

・被災地大槌に手芸工房を2012年7月に開設し、その工房を拠点に内職プロジェクトを行った。内職メンバーは80名、住民交流会の参加人数は述べ500名。

被災地での仕事づくり仲間作り生きがいを通じた住民交流活動事業など震災直後の緊急支援から現在は被災地での生活自立支援活動を重点に活動を行っている。

・被災地での内職プロジェクトでは5つのサークル延べ80名が参加して、被災地応援バザーの商品作りや手芸商品制作のための研修会を実施した。仕事をすることで生きる喜びや働く喜びを感じている住民が多かった。共同で仕事を行う事で仲間意識が生まれ、孤立していた高齢者の社会参加を促すきっかけとなり、一定の効果を上げることができた。また、手芸活動と共に被災地での住民交流会活動を実施した。



2. 事業の具体的な成果

仮設住宅入居者に手芸活動を呼びかけ、活動範囲を広げることで、普段仮設住宅にこもりきりな高齢者の社会参加の機会を設けた。手芸工房では自分の趣味の手芸作品の制作や内職としての手芸作品の制作など、参加者が自由に物づくりをできる環境を整えた。内職をすることで収入を得ることが出来、働く喜び、必要とされている実感が嬉しくて毎日工房に通うお母さんもいる。そのような方の為に手芸の研修会、講習会を定期的で開催し、職業能力の開発支援も行った。

手芸工房には毎日多くの住民の利用があるが、物づくりをしながらおしゃべりをし、他者と関わり、痛みを分かちあう事で心のケアが行われている。それぞれに問題を抱えながらも共に同じ場を共有することで生まれてくる連帯感がこの工房と住民を繋いでいる。

手芸工房に関わることによって社会参加を促し、他者に認められ必要とされていると感じる

ことができるのは工房という居場所を開設することが出来たという一言に尽きる。

現在NPO法人となり、おおつち工房で3人をパートとして雇用しているが、今後は手芸だけでなく地域の特産品づくりとして食品加工部門を立ち上げる予定である。それに伴い専門に事業に関わってくれるスタッフを募集し、組織の要となるスタッフを育て、さらなる組織基盤強化と人材育成を行っていききたい。居場所を開設しているという事で、全国から支援や工房視察の申し入れが多くなった。県外への支援者に対して被災地の現状を発信し、HPやブログで活動の様子を報告することで、被災地へ訪問するきっかけを作った。復興スタディツアーの参加者は年間50団体、合計200名を超えた。参加者には震災の現状と復興への活動を知ってもらうように努めた。工房の活動を地元に戻ってからPRしてもらうなど、支援者が支援をまた広めるといった新しい形が生まれてきている。



3. 今後の方針

今後の課題としては、この工房を維持継続するために、安定的な仕事の供給と工房の安定した運営、支援するスタッフの資質向上が必要である。今回の助成で今後の足掛かりとなる組織の基礎ができ、安定した雇用と住民の居場所としてのおおつち工房の役割を果たすことができた。今後は内職で制作している商品の内容と販路拡大について再検討していく。

震災から3年が経過し、被災地への支援が確実に減ってきている中、それでもサンガ岩手を

支援してくれている団体、企業は依然として存在している。そのなかで、おおつち工房を利用する住民や内職者と全国の支援者を繋ぎ、今後とも応援してもらえるように繋いでいくことがサンガ岩手に求められている。今後は販路拡大や商品開発を重ねながら、助成金がなくても自主事業だけでもNPOを運営していける体力のあるNPOとして活動をしていきたい。



今後も住民交流の場として、物づくりの場所として継続的にこの工房を運営し、継続的に活動を行っていききたい。

今後の復興の歩みは5年とも10年ともかかると言われている。そのなかで安定した居場所としての工房がある事で少しでも生活自立支援活動、住民交流活動を継続的に行って行きたい。被災者の雇用創出も重要であるが、地域再生や生活再建の基盤となるコミュニティづくり、居場所づくりは被災地域の住民にとって必要不可欠な取り組みである。地域住民が主体となって地域の人づくり、居場所づくりの核として工房が成長して行けるように今後も努力していく。

連絡先

担当者氏名 吉田 茉莉子

住所(〒020-0016)

岩手県盛岡市名須川町3-12

電話 90-6224-0328/019-624-0321

FAX019-624-0321